

～ 2019年も、力を合わせて！～

積丹っ子の“タグラグビー”に期待!!



～積丹チャレンジクラブ～ 小樽予選大会で優勝、全道大会へ!



第15回全国小学生タグラグビー選手権小樽支部予選大会が、12月2日、積丹町B&G海洋センターで行われ、当町から「ブルーシーズ」(6年生男女混合チーム)と「グリーンランズ」(4・5年生男女混合チーム)の2チームが出場し、小樽市1チームの全3チーム総当たり戦で、見事「ブルーシーズ」が優勝に輝きました。

タグラグビーとは、タグと呼ばれるひもを腰の左右につけ、ボールを持った選手が相手にタグを奪われないようにしながらパスをつなぎ、トライを目指す。ラグビーで見られるタックル等の接触がない競技です。

今年度の町体育協会スポーツチャレンジクラブの一環で、鈴木良治さん・佳世さん(美国町)と石川一寿さん(美国町)の指導のもと、全道大会出場を目指し、練習に励んできました。そして大会では、息詰まる接戦の中、「ブルーシーズ」が相手の隙をついた攻撃と堅い守りで全勝し、全道大会の切符を掴みました。

元プロ野球選手 ～“夢”に向かって諦めずに～ 稲田直人氏が児童に熱血授業!

元北海道日本ハムファイターズの選手で、現在は野球解説者として活躍している稲田直人氏を講師に招いた特別授業が、12月4日、美国小学校の3年生から6年生を対象に行われました。

この授業は、講師の体験談等を通して、子どもたちに夢に向かって努力や挑戦を続けることの大切さや、支えてくれる人たちに感謝の気持ち、思いやりの心を育むことを目的に行われたものです。

稲田氏は小学校3年生の時に野球を始め、『プロ野球選手になりたい』という夢を持ち、その夢を叶えるため、どんなに厳しい練習でも必死に努力してきた自身の経験を児童たちに伝えました。また、野球を続けてきたことで、両親や支えてくれる人たちへの「感謝の気持ち」がより大きくなったと話し、「夢に向かって最後まで諦めない気持ち、感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしい」と伝え、児童たちは普段聞くことができない話を目を輝かせながら真剣に聞いていました。

授業の最後には、稲田氏とのキャッチボールも行われ、ボールの投げ方や捕り方などの指導もあり、児童たちにとって貴重な体験の1日でした。



MOA美術館 小樽児童作品展

入賞
工藤遥人くん（野塚小2年） 絵画の部
丹場桜花さん（美国小6年） 書写の部

MOA美術館（静岡県熱海市）では、小学生を対象に毎年全国規模の作品展を行っています。

MOA美術館小樽児童作品展（実行委員長：中村裕之衆議）では、小樽市、余市町、仁木町、古平町、積丹町の児童から絵画と書写の応募があ

り、11月25日に市立小樽美術館で表彰式が行われました。

当町からは、野塚小2年の工藤遥人君が絵画の部で「積丹町長賞」、美国小6年の丹場桜花さんが書写の部で「積丹町教育長賞」を受賞し、表彰式の審査講評では、2作品の高い評価が紹介されました。



▲積丹町長賞の工藤遥人君



▲積丹町教育長賞の丹場桜花さん

大川 正樹さん（美国町） 小樽建設管理部から表彰

10月29日、小樽建設管理部で、『平成30年度小樽建設管理部維持・除雪功勞表彰式』が催され、(株)しゃこたん興業の大川正樹さん（美国町）が表彰されました。

この表彰は、道道の維持管理業務や除雪業務に永年従事し、特に優秀と認められた方に贈られるものです。

大川さんは、昼夜を問わない気象条件下で、永年にわたり迅速性と安全性が問われる重機の運転業務に携わり、道道や町道の安全確保に今冬も活躍されています。



▲大川正樹さん（前列右から3人目）

安全・安心なまちづくりに私たちも！ 女性防火クラブ 『声かけ運動』

平成30年4月から『積丹婦人防火クラブ連合会』は、『積丹女性防火クラブ連合会』（山崎美枝子会長・会員400名）に名称変更しました。

「火の用心は家庭から」と、身近な家庭の防火意識の啓発活動の成果もあり、平成30年の積丹町の住宅火災件数は0件でした。

11月20日には、美国女性防火クラブが美国町内の75歳以上の

独居老人家庭82件を訪問し、声かけ運動を行いました。

近年、火災による死者のうち65歳以上の高齢者が約7割を占めていることから、火災等を未然に防ぐため、居住者の体調や家庭の危険な箇所を確認をしました。

女性防火クラブでは、今後も安全・安心なまちづくりに貢献していきます。



▲美国女性防火クラブ